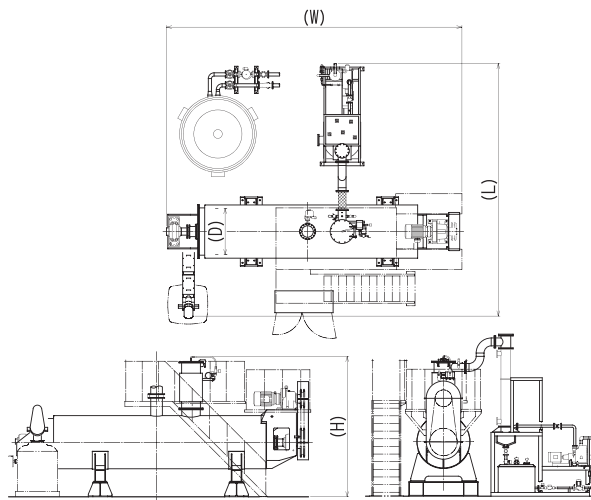


主要寸法

型式	W寸法	L寸法	H寸法	D寸法	撈拌動力(kw)	容量(ℓ)
ED-10	5000	4500	3800	900	7.5	1000
ED-20	6800	5000	4500	1100	15	2000
ED-30	8300	6000	5500	1180	15	3000
ED-40	9300	6500	5500	1240	18.5	4000
ED-50	9500	6500	5700	1270	22	5000
ED-60	10500	6800	5700	1380	30	6000
ED-70	10500	7000	5700	1490	30	7000
ED-80	11000	7500	5700	1560	37	8000
ED-90	11000	8000	6300	1690	37	9000
ED-100	11500	8000	6300	1760	45	10000

※1.乾燥物によっては寸法が変わる場合があります。※2.上記型式以外も製作致します。

EDタイプ配置例



真空乾燥機仕様

加熱熱源

蒸気もしくは温水

真空発生装置

真空ポンプもしくは
ゼットエゼクター

熱源温度

85℃以上の温水
120℃以上の蒸気

材 質

SS材(用途によりSUS304可)

納入実績



納入先：乳業メーカー
所在地：東京都
対象物：脱水汚泥
処理量：10m³/日
乾燥時間：21時間
※減容化プラント



納入先：食肉製品メーカー
所在地：茨城県
対象物：脱水汚泥
処理量：6m³/日
乾燥時間：18時間
※肥料化プラント



納入先：農業法人
所在地：宮城県
対象物：食品残渣
処理量：6m³/日
乾燥時間：8時間/バッチ
※飼料化プラント



納入先：乳業メーカー
所在地：兵庫県
対象物：脱水汚泥
処理量：5m³/日
乾燥時間：15時間
※肥料化プラント

製造元



本社 / 〒857-1164 長崎県佐世保市白岳町100番地4
TEL：0956-31-5778(代) FAX：0956-31-5813
東京支店 / 〒115-0055 東京都北区赤羽西1丁目36番8号
TEL：03-5948-8638(代) FAX：03-3907-9233
<http://www.nagaishi-eng.co.jp>

販売代理店

WP2021.01.1000





真空乾燥機とは

真空状態では水の沸点が低下するため、低温で水分を蒸発させることができます。
装置本体に投入された汚泥や残渣などは、伝熱効果を高めるためのインペラーにより攪拌されながら加熱された装置内面と接触し、効率良く乾燥が行われます。
熱エネルギーをあまり必要としないため、低コストで乾燥できます。

乾燥対象物

- 1 排水処理施設からの脱水汚泥やスラッジ
- 2 生ゴミや果実の搾り滓などの食品残渣
- 3 各種廃水、廃液
- 4 顔料、香料、薬品など
- 5 水産加工残渣やおからなど

仕 様

処 理 量	1～10m³/日
真 空 圧	－90～96kpa
最大排ガス量	90～5500 ℓ /min
使用燃料	A重油、灯油、LPG、都市ガス (温水等の廃熱も利用可)
構成機器	乾燥機本体、コンデンサー、攪拌機 クーリングタワー、循環ポンプ、真空ポンプ ボイラー、乾燥品排出装置
減容化率	重量・体積比 80%以上

減容化とリサイクル



乾燥品は有価物として販売出来る場合があります。
有機汚泥の場合1/5～1/6に減容が可能。

特 長

1 完全リサイクル



乾燥後の対象物は成分変化が少ないため肥・飼料の原料として、販売も可能です。

※乾燥品の成分分析結果次第では、地域限定で買い取り業者の斡旋も行います。

2 設置届けが不要



10m³までの装置は『廃棄物処理法』の規制を受けないため届け出の必要がありません。

3 排出量の大幅削減



水分85%の汚泥は、乾燥することにより重量・体積共に20%以下になりますので廃棄物として処理する場合も経費の大幅削減が出来ます。

4 完全自動運転



バッチ式のため、投入と排出時以外は無人運転ができますので人手がかかりません。

5 悪臭の発生がない



密閉された真空状態で運転を行いますので、臭気が外部に漏れることはありません。

6 省エネルギー



真空状態で乾燥を行うため効率が良く、使用する燃料が僅かで済みます。

7 メンテナンスが容易



構造がシンプルで上、周辺機器も少ないため故障が少なくメンテナンスの手間が掛かりません。

真空乾燥システムフロー(蒸気仕様)

